

奥多摩町【避難先・避難のながれ・避難所一覧】

震災（雪害・大規模事故等）の場合

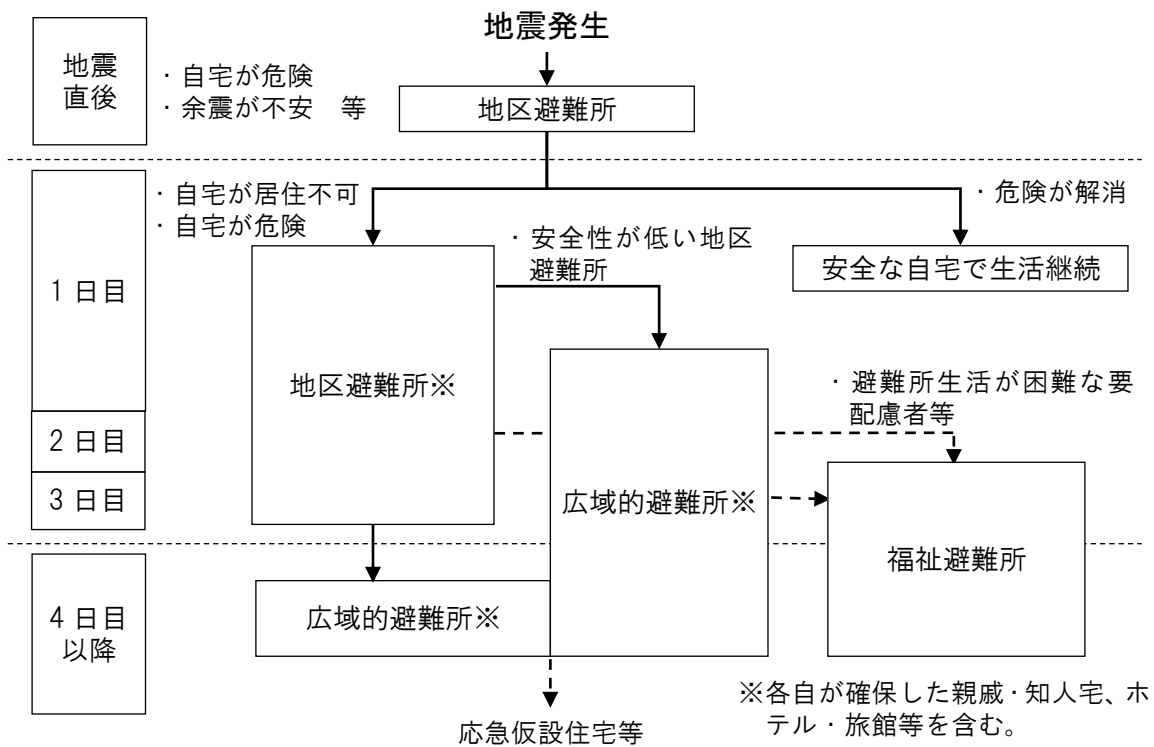
・避難先

地震直後の避難先は、地区避難所とする。

自宅での居住が不可能な場合は、広域的避難所の他、密を避けるため各自が確保した親戚・知人宅、ホテル・旅館等に分散避難を行い、生活する。

※緊急的な避難者の受け入れにあたっては、避難した全ての者を受け入れる。

〈避難のながれ〉



※雪害・大規模事故等の場合、震災時の避難方法を準用する。

風水害の場合

・避難先

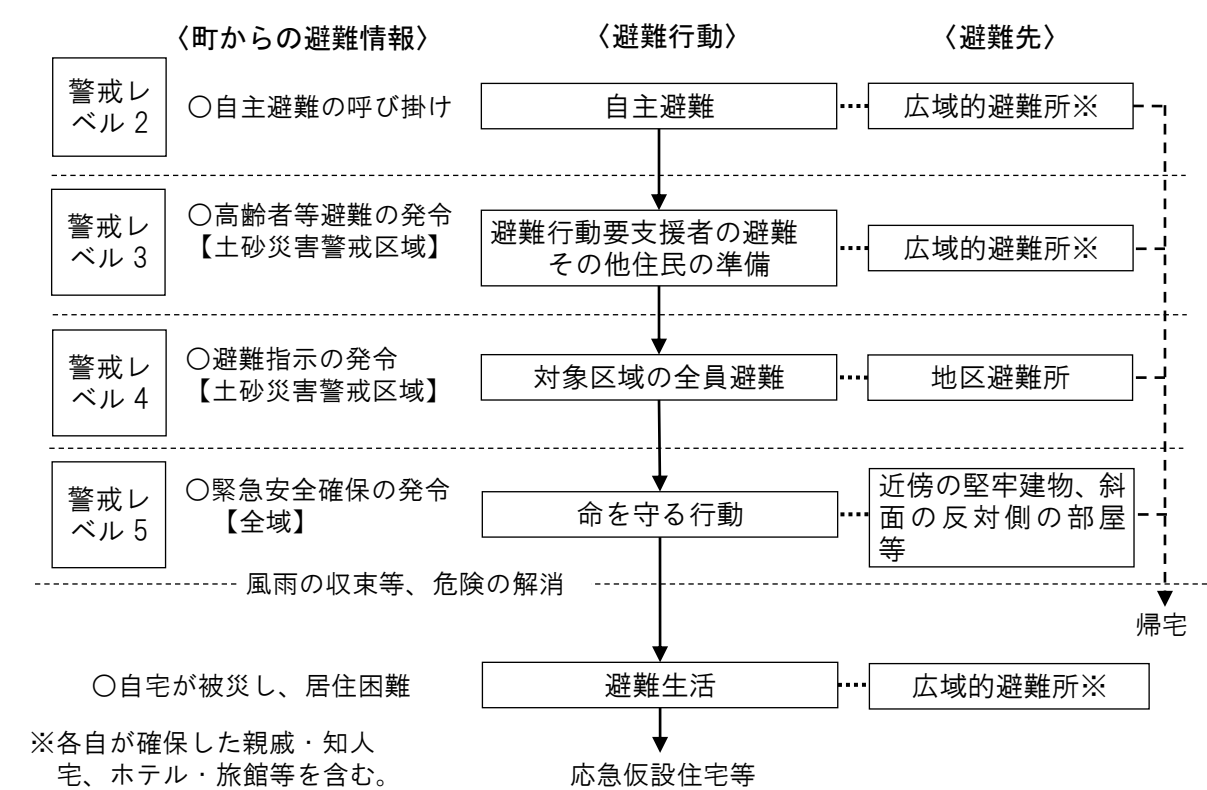
基本的に風雨が強まる前の事前避難（警戒レベル2・3）は、広域的避難所とする。

風雨が強まり避難指示（警戒レベル4）を発令した場合は、居住する地区の地区避難所とする。

なお、自宅が被災し居住が不可能な場合は、広域的避難所の他、密を避けるため各自が確保した親戚・知人宅、ホテル・旅館等に分散避難を行い、生活する。

※緊急的な避難者の受け入れにあたっては、避難した全ての者を受け入れる。

〈避難のながれ〉



奥多摩町避難所一覧

令和7年4月1日現在

地区避難所								
自治会名	施設名	所在地	開設可能な災害 ※1				施設面積	収容人員 ※2
			震災	風水害	雪害	大規模事故等		
川 井	川井生活館	川井1 5 6－4	○	○	○	○	95㎡	48人
	沼沢集会所	川井2 9 0－2 4	○	○	○	○	51㎡	26人
大丹波	大丹波会館	大丹波1 2 2	△	○	○	○	132㎡	66人
梅 沢	梅沢コミュニティセンター	梅沢1 0 6－ロ	○	○	○	○	98㎡	49人
丹三郎	丹三郎生活館	丹三郎1 8 0	△	○	○	○	119㎡	60人
小丹波	小丹波コミュニティセンター	小丹波5 0 1	○	○	○	○	145㎡	73人
	旧小丹波生活館	小丹波4 7 2－2	△	○	○	○	152㎡	76人
	小丹波上集会所	小丹波2 7 9－6	○	○	○	○	72㎡	36人
	寸庭集会所	小丹波9 1 1	○	○	○	○	55㎡	28人
棚 沢	棚沢コミュニティセンター	棚沢4 0 9	○	○	○	○	110㎡	55人
白 丸	白丸生活館	白丸7 2－6	○	○	○	○	96㎡	48人
大氷川	氷川コミュニティセンター	氷川1 7 8－1	×	×	○	○	417㎡	209人
常 磐	常磐生活改善センター	氷川9 5 4－1	△	○	○	○	114㎡	57人
長 畑	長畑生活館	氷川7 3 7	×	×	×	○	109㎡	55人
南氷川	南氷川生活館	氷川1 3 7 1	×	×	×	○	135㎡	68人
栃久保	栃久保自治会館	氷川1 8 0 6－1	○	○	○	○	114㎡	57人
大 沢	大沢生活改善センター	日原1 9 8－ロ	△	○	○	○	96㎡	48人
日 原	日原生活館	日原7 6 0	○	○	○	○	225㎡	113人
海 沢	海沢自治会館	海沢7 7 9	△	○	○	○	148㎡	74人
境	境生活館	境1 1－1	○	○	○	○	106㎡	53人
	境集会所	境3 5 3	○	○	○	○	99㎡	50人
中 山	中山生活館	境8 7 1－1	○	○	○	○	118㎡	59人
小河内	原生活館	原2 6 8－2	×	×	×	○	168㎡	84人
	坂本コミュニティセンター	留浦1 2 5 2	○	○	○	○	59㎡	30人
	川野生活館	川野2 6 1－1	○	○	○	○	187㎡	94人
	留浦生活館	留浦6 1 9－1	○	○	○	○	114㎡	57人
	峰谷生活館	川野5 2 9－1	○	○	○	○	152㎡	76人
	峰生活改善センター	留浦8 9 1	△	○	○	○	77㎡	39人
	奥生活改善センター	留浦1 9 7 7－8	○	○	○	○	49㎡	25人
18自治会	29か所						3,612㎡	1,813人

※1 「開設可能な災害」欄の「○」は開設可能、「×

※2 収容人員は、2㎡/人で計算しているが、避難が2日以上となる場合や感染症発生下において実際の収容人員が少なくなる場合がある。

広域的避難所								
地区名	施設名	所在地	開設可能な災害				施設面積	収容人員 ※3
			震災	風水害	雪害	大規模事故等		
古 里	奥多摩文化会館	小丹波8 2	○	○	○	○	1,920㎡	320人
氷 川	奥多摩町福祉会館	氷川1 9 9－ロ	○	○	○	○	1,682㎡	280人
小河内	奥多摩水と緑のふれあい館 ※4	原 5	○	○	○	○	1,830㎡	305人
	3か所						5,432㎡	905人

※3 収容人員は、6㎡/人で計算しているが、感染症発生下においては実際の収容人員が少なくなる場合がある。

※4 水と緑のふれあい館に避難所を開設する場合、原則として3Dシアター室のみを避難スペース使用することとする。ただし、災害時に3Dシアター室のみでは避難者を収容しきれない場合は施設内のその他のスペースも使用可能としているため、施設面積及び収容人員欄には施設全体の数値を記載している。

学校施設避難所								
地区名	施設名	所在地	開設可能な災害 ※5				施設面積 ※6	収容人員 ※7
			震災	風水害	雪害	大規模事故等		
古 里	旧古里中学校	川井5 9 4	○	○	○	○	3,424㎡	571人
	古里小学校	小丹波7 5	○	○	○	○	4,006㎡	668人
氷 川	氷川小学校	氷川2 7 8	○	○	○	○	4,254㎡	709人
	奥多摩中学校	氷川7 6 0	○	○	○	○	3,101㎡	517人
日 原	旧日原小学校	日原7 6 8－ロ	○	○	○	○	1,384㎡	231人
小河内	旧小河内小・中学校	留浦1 2 3 7	○	○	○	○	3,246㎡	542人
	6か所						19,415㎡	3,238人

※5 学校施設避難所については、地区避難所及び広域的避難所を補完する予備的な避難所と位置づけているため、災害発生時に必ず開設するものではない。

※6 施設面積は、各施設の校舎及び体育館の面積を合算している。

※7 収容人員は、6㎡/人で計算しているが、感染症発生下においては実際の収容人員が少なくなる場合がある。